

『通訳技術』（5月7日配信）

こんにちは。

朝霞で生活していますが、手話通訳をよく頼みます。

保育園や学校の運動会、懇談会、料理教室などいろいろな場面で通訳を依頼します。

その際に気づいたことをお話しします。

料理教室の通訳の際に、ボールに粉を入れるのですが、先生はボールにビニール袋に入った白い粉を入れますと説明しています。通訳者の表現は、ボールに「入れる」入るという手話表現でした。4歳の娘も参加していましたが、先生の話聞き逃しているし通訳の手話も入ってこないため、何をしていいかわからなかったようです。改めて、CL表現で袋の粉をボールに入れる説明を娘にすると同じように行動できました。

入れるにも入れるものや入れ方は様々です。袋なのかコップなのか、コップであればこのような表現ですね。入れ方も1回で全部なのか少量なのか、水であれば数回に分けるのかなど表現で区別できます。「入れる」でまとめるのではなく、状況に合わせた手話表現をお願いしたいと思いました。